

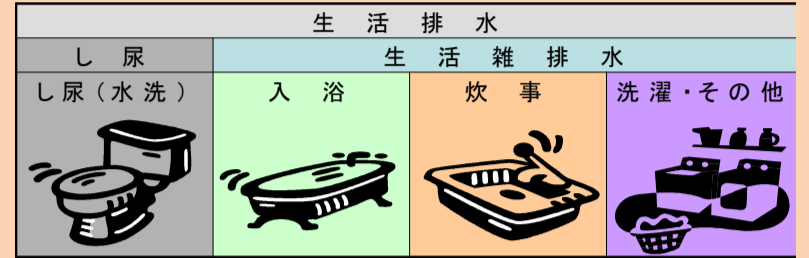
兵庫県的生活排水対策

1 背景

河川、海域等の公共水域の水質改善をはかるためには、排水基準の強化や水質総量規制等による規制だけでなく、生活排水対策が重要

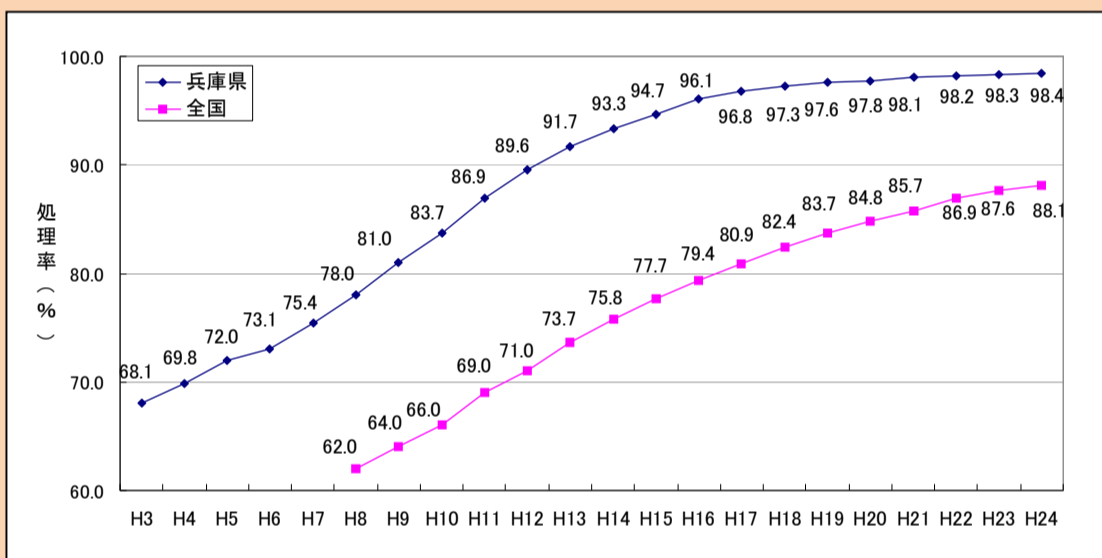
2 目標

- ・ 1991年に「生活排水対策99%大作戦」を策定
⇒河川や海域等の公共用水域の水質保全とともに生活環境の改善（トイレの水洗化等）をはかる
- ・ 2001年までに生活排水処理率を99%（上水道の普及率）に高めることを目標



3 生活排水処理率

2012 度末 98.4%（全国 3 位）



集合処理	公共下水道	住宅が密集している市街地区の各家庭からの排水を集合的に処理する
	農業（漁業）集落排水施設	農村（漁村）集落の家庭からの排水を処理する（中規模の集合処理） 対象人口：農集概ね1,000人、漁集100～5,000人
	コミュニティ・プラント	地域単位で家庭からの排水を処理する（中規模の集合処理） 対象人口：101人以上30,000人未満
	小規模集合排水処理施設	地域単位で家庭からの排水を処理する（小規模の集合処理） 対象人口：2戸以上20戸未満の集落
個別処理	浄化槽	各戸に設置し、し尿とその他の生活排水を併せて処理する（下水道整備が望めない地域、山間等）

生活排水の処理方法

4 県助成制度の変遷

フォローアップ作成終了後も自治振興資金による貸付を行っている。

	99%大作戦	フォローアップ作戦	自治振興資金
対象市町	全市町	2004年度末で処理率80%未満の市町	同左
助成期間	1991年～2004年	2005年～2009年	2010年～
助成対象事業	下水道、集合排水施設、市町村整備型浄化槽など	同左	同左
助成内容	補助1/2及び貸付1/2	補助1/3及び貸付2/3	貸付3/3



県民向け普及啓発用

パンフレットの作成